

令和 2 年度ふるさと創生 N P O 活動応援事業報告書

- ・当報告書は、基金のホームページ等で掲載する予定です。
- ・メールは、wada@mejiron.org あて送付するとともに提出の際は、タイトルを「令和 2 年度ふるさと創生 N P O 活動応援事業報告書」としてください。
- ・写真は、元データも一緒にメールでお送り下さい。

団体名	特定非営利活動法人 APU グローバルビジネスネットワーク	
<p>1. 事業内容について、進捗状況報告書をまとめるような形で記載してください。</p> <p>本事業は、新型コロナウイルス禍によって疲弊した大分経済の回復と更なる地域活性化のため、「新たな行動様式」に基づくビジネス基盤形成を目的として、オンラインによる海外とのビジネスマッチングや、オンラインマーケティング事業者等とのセミナーや意見交換会の開催を実施しました。</p> <p>(1) オンラインによる海外とのビジネスマッチング</p> <p>これまでは、当事者が現地へ赴き、カウンターパートナーと協議を行ってきていましたが、新型コロナウイルス禍で現地訪問できないことから、現地で企業コンサルティング業を営む APU 卒業生を仲介することで、県内企業と現地企業を Zoom を使ってマッチングする方法を試みました。本事業実施期間中、4 件のビジネスマッチング相談を受け、3 件についてはビジネスマッチングを実施しました。4 件中 3 件については、県内企業より直接または県内金融機関を通じて相談がありました。残りの 1 件はベトナム側からのニーズに基づき相談がありました。</p> <p>(2) オンラインマーケティング事業者等とのセミナーや意見交換</p> <p>本事業実施期間中、3 回のセミナーを開催しました（当初 4 回を予定していましたが、1 回は講演者急病により中止しました）。</p> <p>7 月 11 日 第 1 回 オンラインによるマーケティングの有効性とその手法 11 月 11 日 第 2 回 新型コロナによる吸収経済界への影響と SDGs 経営 1 月 9 日 第 3 回 講師が急病のため中止 3 月 5 日 第 3 回 コロナ禍からのビジネス機会</p> <p>セミナーは各回ともに、会場での参加と Zoom を通じた参加のいずれかを選択できる形とし、Zoom による参加者もリアルタイムで講演を視聴し、質疑応答に参加できるハイブリッドにより実施しました。</p> <p>なお、次年度以降については、上述オンラインビジネスマッチング及びセミナー開催を継続しつつ、本年度選定された九州経済産業局 SDGs 経営推進フォーラムパートナー企業として、大分県下企業の SDGs 経営及び県内団体の SDGs への取組支援を強化していく予定です。</p>		

2. 事業を実施している様子等が分かる写真を4枚以上添付してください。

<第1回セミナー>



<第2回セミナー>



<第3回セミナー>



3. 来年度以降、事業終了後も、その効果や結果が継続されるために、組織としてどの様に、体制や対応をしていくのかについて記載してください。

今回の事業を通じ、オンラインによるビジネスマッチングやオンラインセミナーを実施することができ、その効果を確認するとともに、今後も実施していくことが可能なノウハウを得ることができました。

今回の経験を更に深め、大分の経済社会のさらなる発展のために本事業を継続していく予定です。

また、本年度、九州経済産業局 SDGs 経営推進フォーラムパートナー企業に選定されたことから、大分県下企業の SDGs 経営及び県内団体の SDGs への取組支援を強化していく予定です。